

◎ あとがき ◎

「小児科医ができるアドボカシー活動」が今月号の特集です。子どものために代弁することは、小児科医であれば医療現場において誰でもやっていると思われるかもしれませんが、本特集のようにアドボカシーについてまとめて学んだことはあるでしょうか。冒頭で五十嵐 隆氏は、代弁する対象は、(a) 自分が接する患者さんとその周囲、(b) 子どもが住む地域、(c) 国、(d) メディア・コミュニケーションなどであると述べられています。確かに(a) は、多くの小児科医が bio の日常診療のなかで取り組んでいます。が、psychosocial の活動はどうでしょうか。小児科医がもっと子どものために代弁すべきであること、まだその余地が多くあることを余谷暢之氏や伊藤健太氏は述べられ、かつアドボカシー教育に先駆的に取り組んでおられます。そして、自見はなこ氏は国の政治の立場で、子どもの課題を収集して政策に結びつけ、小児科医のアドボカシー活動の重要性を述べられています。

個人レベル、地域レベル、国レベル、メディア・コミュニケーションレベルもそれぞれのアドボカシー活動が紹介されており、各執筆者が子どもの抱える課題に気づき、取り組んでおられる様子が手に取るように伝わってきます。

では、私たちはどのようにアドボカシー活動に取り組めばよいのでしょうか。この特集から挙げるなら、余谷氏らの教育プログラムに参加することも行動の一つであり、本田真美氏のように院内と院外の地域医療活動への参加、小倉加恵子氏のように行政機関の職に従事すること、坂本昌彦氏のように健康情報を発信していく方法など、さまざまあるでしょう。大切なことは、小児科医が子どもへのbiopsychosocial approachで気づいた課題に自ら取り組み、関係者・機関と協働し、周囲から求められる役割を担い、最初の課題から波及したさまざまな課題にも目を向け、自らの立ち位置を認識し、柔軟に受け入れていくことではないかと思います。それがひいては子どもたちのwell-beingのための代弁者となっていくように思います。

(秋山千枝子)

■編集顧問

白木和夫	阿部忠良	藤川 敏	阿波彰一
山口規容子	飯沼和三	大和田 操	伊藤文之
柳川幸重	児玉浩子	岩田 力	麦島秀雄
桃井真里子	山中龍宏	藤澤知雄	横田俊平
小原 明	衛藤 隆	椎原弘章	田原卓浩
横田俊一郎	栗津 緑	五十嵐 隆	稲毛康司
下条直樹	田島 剛	淵上達夫	森尾友宏
大橋十也	浦上達彦	賀藤 均	秋山千枝子

■編集主幹

清水俊明 窪田 満 富澤大輔

■編集委員

伊藤純子	乾あやの	小野 博	小崎健次郎
小林茂俊	小松充孝	島袋林秀	東海林宏道
高橋謙造	成田雅美	日暮憲道	平野 静香
広瀬宏之	三浦健一郎	道下崇史	森岡 一朗

小児内科 第55巻 第10号 (10月号)

2023年10月1日発行 (毎月1日発行)

定価3,190円 (本体2,900円+税10%)

※消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

2024年前金予約購読料 52,690円 (本体47,900円+税10%)

増大号1冊・増刊号1冊 (小児内科・小児外科合同) 含む

*送料は前金予約購読の方のみ弊社負担です。

*ご転居の際は「小児内科」とご明記の上、新旧のご住所を販売部までご連絡下さい。

編集 小児内科編集委員会

発行 株式会社 東京医学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-40-5

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-3237-9113 (直) FAX 03-3237-9115

E-mail: shonai@tokyo-igakusha.co.jp

販売部 TEL 03-3265-3551 (代) FAX 03-3265-2750

E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 東京医学社が保有します。

・ **JCOPY** (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構 (TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089), e-mail: info@jcopy.or.jp の許諾を得てください。

本誌広告取り扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 本郷宮田ビル 5F
TEL 03-3814-8541 (代) FAX 03-3816-0415